

# 東光寺たより 73

文責 東光寺英隆

## 当山の夕陽♪

当山は東に位置している為、夕陽が綺麗に映える訳です♪そして夕陽をバックに更に自然の風光が生えてくる一刻♪



## 写経のお客さん♪

お客さんは写経に来られて、ボク達にお土産も持参して下さって嬉しい限りだワン🐶写経の間は、ボクも静かに静かに過ごすんだ♪また来て下さいね♪



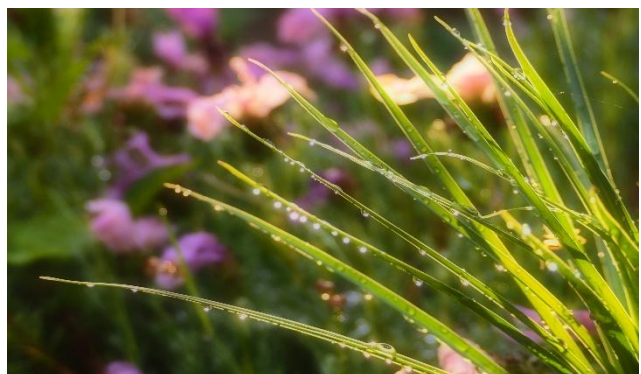
## 放生池の睡蓮が咲きました♪

当山の放生池の睡蓮は、朱色です♪綺麗に咲いていました♪暑かったり寒かったりと気候が変動する時期ですが、花が咲かない時は無いですよ。これからも見守っていかうと思います♪



## 5月も終わりに近づき・・・

GWに始まり、祭やその他行事で幕を閉じようとしている今月も様々な出来事が生じては消えてまた生じては・・・の連続でした♪全てが上手くいく訳ではなく、いやもとい上手く事が運んだ事も少なからず在りました♪どうして上手く事が運んだのだろうか？と考えた時に、準備が上手く出来たからかな？努力してたからかな？連携がそつなく出来たからかな？と疑問に思う事も有ります。ですが、人生は“贈物”の連続で、誰かに与え、誰かから与えてもらって、その繰り返しで。小生にできることは、日々を通して、日々全力で向き合うことです。その姿が、読者のみなさんに元気や勇気を“贈物”として届けられたらと思います。読んだあとに、あたたかい気持ちになったり、少し前を向けたり、「自分もがんばろう」と思ってもらえるように……。たよりからの“贈物”、ぜひ受け取ってもらえたらと執筆しております♪



## 風雲 ● 大阪城（大坂城）



もう随分前の話ですが、托鉢で雲水時代に大阪城（大坂城）を回った事がございました♪時同じくして、同地のホールでは嵐のコンサートと被りまして、大勢のギャラリーでゴッタ返して丁度屏の画の如くでした♪確かに時代は違えど、同地に於いては血で血を洗う夏の陣、冬の陣が有った事を思い出し、多くの将兵の命を落とした場所なんだと思うようになりました♪大勢のギャラリーの眼を掻い潜り登城して、帰山したのが懐かしい思い出♪



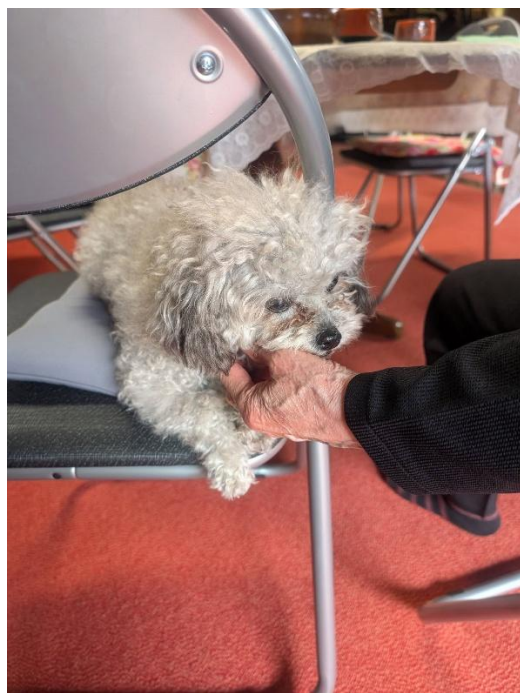
## 己書の幸座が再開しました♪

御馴染みの寺庭の表記の幸座が再開しました。先月は諸般の理由で開催出来ませんでした。此度は満を持して開き、真剣に向き合う生徒さんの姿がそこに在りました♪来月も研鑽を積まれる事間違いなしです♪



## 御母堂とうり二つ♪

先日の法事にて、遺影をパッと拝見しただけで息子さんとそっくりな法事の一刻♪思わず住職も本人ですか？と訊く事がございました♪最後にも、お話させてもらいましたが、何故？似ているのでしょうか？それは単なるDNAの働きに依るものなのでしょうか？確かに、血を受け継いでいる、遺伝子を・・・となる訳ですが、住職的には命を頂いているという表現が大事だと考えます。故に、命のリレーというモノは幾星霜の時の流れなんだと・・・傍らにいる看板犬のそうちゃんもしかり。この世に何匹の命を紡いできて、引退して当山に身を寄せているのだよとお伝えした法事の一コマでした♪



## 急に暑くなったわねええ♪

